

CHECK

健康増進の取組みで
フレイル予防対策を



一般質問映像



各地区で行われているちよいトレの様子



すぎもり
杉森 賢二
議員

Q 健康増進フレイル予防で健康長寿対策を

A 高齢者の保健事業と介護予防の一体化の本格的な実施に向け準備を進めたい

フレイル予防の推進を

問 地域包括支援センタ

ー3拠点を民間に、町が監視役となるような体制見直しと、新たな支援、介護予防活動の構想は。

長寿介護課長 機能の集中・高度化を図るため、民間事業者の専門性活用

も含め、設置や見直しの協議を行っている。機能強化に加え、町が機能を補完しながら、複合的な問題や困難事例に対し、迅速かつ的確に対応できる体制を構築し、ボランティアや地域の団体、医療機関、介護事業者と連携しながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができ

るよう、地域包括ケアシステムの深化・推進を図っていききたい。

問 フレイル予防対策は、

食・口腔機能・運動・社会参加と専門的に捉えなければならぬと考えるが、専門機関・団体連携で行う計画は。

住民福祉部長 福祉保険課、長寿介護課、健康増進課において、フレイルに注目した疾病予防の取り組みの必要性の話し合いを重ね、令和4年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体化の本格的な実施に向け準備を進めていく。

Q 未来につながるスポーツ振興を

A 気軽に楽しみ健康でいられる環境を作りたい

町のスポーツ振興を

問 運動施設予約システムの見直しは。

企画財政課長 利用者や施設管理者の意向を把握し、窓口での手続きとの並行稼働やオンライン予約方法の説明、施設ごとの導入時期の設定など、

手法にも、サービスの公平性や利便性が損なわれないよう配慮し実施に向けて取り組みたい。

問 障がい者と一緒に楽しめるスポーツの現状、設備に対する要望や大会の開催など、今後の取組みは。

健康増進課長 障がい者団体に対する定期的な体育施設の貸し出しやボッチャなどの用具の貸し出しを無償で行っている。また設備に関しては状況を確認し施設管理者と協議した上で対応していく。障がい者と健常者がともに参加できる大会の開催については、レクスポ大会のように既に取り組ん

でいる大会の拡充に加え、スポーツ協会と協議を進めているスポーツフェスティバルにおいて競技種目やコーナーを設けることから開始し、関係団体と協議した中で、将来的には大会の開催も視野に入れていく。

健康増進課長 障がい者

会のように既に取り組ん

フレイル…年齢とともに体や心のはたつき、社会的なつながりが弱くなり、将来要介護状態となる危険性が高い状態のこと。健康な状態から介護が必要な状態になるまでの中間段階として位置付けられている。